

新関地区 開催日時:令和7年6月24日(火)10時～  
会 場:新関コミュニティセンター

[参加者]新関コミ協:渡辺会長、長谷川副会長、山崎会計、吉田事務局長、防災部 間部長、安心安全部 土田部長、高橋副部長、廣田副部長、福祉健康部 土田副部長、文化教養部 高井副部長、児童クラブ運営部 伊藤副部長、包括日宝町 吉川様 秋葉区社協:秋山事務局長補佐、米山、時田

地区別計画推進目標ごとに推進できそうなこと		地域の取り組みをする上での課題解決のためにできること
1 明るく元気な地域づくり	3 健康で豊かな地域づくり	
①小さな輪のつながりが大きな輪へ！ ・SNS等で活動を若い世代へ周知することで郷土愛を育むことにもつながると思う。 ・小学校主催の懇親会にコミ協も出席し、コミ協主催の懇親会へも小学校の先生の出席がある。このつながりを大切にしていきたい。 ・イベントを行うが、参加者も高齢になってきており、参加者が減ってきている。 ・7/12に大関まつりがあり、花火が上がる。若手会等があり、地域が盛り上がるよい機会となっている。	①豊かな心！健全な精神と健康な体！ ●七夕福祉の集いの継続 ・昨年に引き続き、移動手段がなく参加が難しい人のためにタクシー送迎を行う。	
②若者に出番を！主役を！ ●活動を見直し、人材育成を図る ・役員のなり手がいない。 ・60代でもまだ現役の方が多く、声をかけにくい。 ・即戦力が欲しいがなかなか見つからない。 ・女性も役員として取り入れていきたい。 ・区「未来ビジョン」を通して40～50代のPTAの方とのつながりができた。コミ協の活動へも企画から関わってもらい、できることから参画してもらうようにする。このつながりを続け、人材育成していきたい。 ・他のコミ協ではどうやって役員等の人材を集めているのか知りたい。	②健康意識の向上は自分から！ ●介護、健康、認知症等の講演会の開催 ・昨年は行政と連携して肺がん検診の時に骨密度等の健康チェックを行い、参加人数も多かった。今年はまだ行政からの情報提供がない。 ・昨年度、健康福祉部員が4名中3名が辞め、現在女性部員2名で行っている。皆さんが楽しめる企画を考えて行っていきたい。 ・夏休み時の小学生のラジオ体操に高齢者も参加しているが、小学校のラジオ体操も無くなっているところもある。	
③地域から期待される「しんせき児童クラブ」に！ ・現在、夏休み時には40名利用。 ・夏休み時には児童クラブ卒業生の大学生が2名ボランティアとして手伝いに来てくれる。春休みにも手伝いに来てくれ、とても助かった。子どもも喜んでいた。 ・作品展に子どもの作品を展示したり、コミ協の行事に参加したりと交流を行っている。		
2 安全で安心な地域づくり	4 相談しやすい体制づくり	地域の課題のためにできそうなこと
①防災の基本は地域の和！ ●三者合同避難訓練、防災講演会の継続、図上訓練の検討 ・今年度の三者合同避難訓練は水害についてをテーマに行った。 ・2月に消防署の職員を呼んでAED講習を行った。コミ協や児童クラブの子どもたちも呼び、17名の参加。AEDはあったが使い方が分からなかったため、講習を通して学ぶことができた。 ・4月には消防訓練を行い、通報や消火、避難誘導等の訓練を行った。 ・6/22は「新関防災の日」として新関地区9集落で緊急避難の訓練を行った。 ・10月にはコミ協と児童クラブとで防災訓練を実施予定。 ・避難所運営マニュアルが4回目の改訂予定のため、その後図上訓練を行うか検討。	①お茶の間サロンに集まろう！ ・地域の茶の間で行っている活動もあるため、茶の間やコミ協で話し合ってやるのもよいのではないか。 ・大関では健康体操や脳トレ等を行っている。声かけ等を行っているが、参加者は決まっている。 ・小口では茶の間に30～40人集まることもあり、男性はグランドゴルフを行っている。	
②大勢の目で地域を見守ろう！ ●青色パトロール隊、新関安心安全見守り隊の継続 ・青色パトロール隊のメンバーは3名で月2回程度見回りを行っている。子どもだけではなく、高齢者を含めた地域の見守りを行っている。 ・熊が出たとき等は緊急で巡回を行っている。 ・メンバーも高齢化しているため、後継者等の課題がある。 ・新関安心安全見守り隊のメンバーは65名。小学校で対面式を行い、関係づくりを行っている。 ・小学校の行事に安心安全部も参加し、顔の見える関係づくりを行っている。 ・青色パトロール隊で地域を見守りつつ、防災の日のPR等も行い、コミ協の活動の周知も行っている。	②絆、つながりを大切に！ ●歳末見守り事業の検討 ・昨年はコミ協、民生委員とで協議を行い、民生委員が行う形となった。今年度もそのような形でよいのではないか。  ●移動の課題の検討継続 ・移動の足がなく、買い物や通院が困難であるという話を聞く。また、免許を返納してしまうと移動の足が無くなるため、なかなか返納できない。 ・地域の行事への参加も運転ができなくなると移動ができず、参加しづらい。 ・昨年の4月からバス路線を変更し、土手を通っていたバスを地域の中を通ず路線にした。乗車率は上がっており、今後は金屋地区を通る路線に変更したい。 ・今後も地域の声を受けて行政へ伝えていく。	